

## 白山麓オリジナルわらびの選抜に取り組んでいます

石川農林総合事務所



優良系統選抜に向けて味を比較



栽培ほ場で意見交換

当事務所では、うど、わらび、ぜんまいなどの山菜の生産を振興しており、「山採り」から「安定出荷のできる栽培」への転換、出荷規格の統一などに取り組んだ結果、平成24年の山菜栽培農家数は40戸、栽培面積は約3haと生産が拡大しています。

このうち、わらびの栽培については、農林総合研究センターが育成した「紫わらび」が一部で導入されているものの、多くは農家自身が近くの山野で採取した株を利用しているため、品質にばらつきが見られます。このため、農家からわらびのブランド化を図るために統一した白山麓オリジナルの優良系統が欲しいと要望があり、当事務所では優良なわらびの選抜を支援しています。

今年度は、きのこや山菜の生産者で組織された白山麓特産振興会が中心となり、白山麓に自生するわらびの株を採取し、優れた系統を選抜する取り組みを推進しています。5月31日には、当事務所担当者が選抜試験のための講習会を開催し、管内の山菜出荷者が白山麓各地から持ち寄ったわらびについて、草姿や調理品の味を出荷者自身に比較してもらいました。

今回持ち寄ったわらびの株は、秋に地下茎を採取して、林業試験場内のほ場に移植して試験栽培を行い、生育・収量・品質などを検証する予定です。今後も、白山麓オリジナルわらびの選定に向けた助言や調査に協力するとともに、当事務所の森林部とも連携して白山麓における山菜の生産振興を支援していきます。

問い合わせ先：石川農林総合事務所農業振興部  
(076-276-0371)